

# 南河内社協だより

【発行所】  
南河内地区  
社会福祉協  
議会

【事務局】  
南河内出張  
所内 岩国  
市土生39-3  
Tel.47-2001

会長 : 山本孝夫  
副会長 : 穂本光枝  
〃 : 横道利充



会長挨拶  
南河内地区社協  
会長 山本孝夫

あけましておめでとうございます。  
本年が皆様の良い年でありますよう、お祈り申しあげます  
さて、平成も既に二十七年目に入り、歳とともに「光陰矢の如し」と感じるこのごろです。

日頃より地区社協の活動にご協力いただいている皆様と共によりよい南河内の環境作りに努めて参りたいと思います。

健康づくりと交流事業を年々開催しておりますが、殊に十一月のウォーキングの会は予定人数を上回る参加をいただき、感謝しております

又、「ふるさと河内」―南河内むらづくり塾発行―にもふれさせていただきましたが、先輩諸氏の努力によってスタートし、永年続けてまいりました「プロ駆除薬剤の投薬」を、河川散布に問題あり、との意見を耳にし、各自治会長の意見をふまえて、しばらく「休止」することと致しました。

今後の対応はプロ発生の如何んによって、行政に相談し、新たな手を打つ方針でございます。  
皆様のご理解の程宜しくお願い申し上げます。



中学校々長挨拶  
岩国西中学校  
校長 前田琢磨

「謹賀新年」  
新しい年を迎えたとはいえ、心躍る明るい話題がなかなか見つかりせん。テレビや新聞を見ても、「〇〇はどうなっているんだ!」と、責任を追及する口調で、厳しい言葉が並びます。

自分に困難が降りかかってきたときも、つい言い訳をしたり、置かれた状況のせいにしてたり、他人の悪口を言ったりしてしまします。

しかし、この態度からは、「更の上をめざす」ものでもなく、よりよい何かを「追い求める」と言うことも意味合いが異なります。むしろ「後ろ向き」だとしか思えません。

年末には、香港の学生たちは、「正しい選挙」を求めて抗議行動に出ました。ノーベル平和賞の受賞式でマララさんは、「平和、平等、教育」について訴えました。

今、世界に目を向けると、私達が普通であると思えることが、普通になっていない地域がまだまだあることを思うと、「ろくでもない世の中」にみえるこの社会かもしれない世の中、前向きに見ると「まんざらでもない世の中」だと思えます。



小学校々長挨拶  
河内小学校  
校長 廣田好史

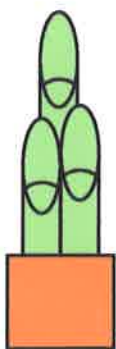
## 河内伝統色に染まつて

明けましておめでとうございます。  
四月に河内小学校に赴任してからあつという間に九ヶ月が過ぎようとしています。その間、いろいろな地域の行事にも、子ども達や保護者、職員とともに参加させていただきました。

菜の花フェスティバルやふれあい朝市では、PTAのバザーを出店させていただきました。多くの売り上げがありました。敬老会では、児童の発表を見ていただいたり、地域の方々と楽しい時間を過ごすことができました。又、盆踊りに参加させていただいた時には、初めて岩国音頭を踊り、餅まきや抽選会のお手伝いまでもさせていただきました。

どの行事に参加させていただいても感じること、いつも沢山の方が参加しておられ、そして笑顔にあふれているということです。

そんな素敵な河内の伝統色に染まつていく自分が嬉しい今日この頃です。





地区社会福祉協議会の活動

☆球技大会

平成二十六年十月十九日(日) 午前八時より西中学校グラウンド、体育館及び運動広場でそれぞれの試合が日ごろの練習の成果を発揮し、元氣いっぱいに繰り広げられました。結果は以下の通りです。

【優勝】

- ・ミニテニス(個人)：河野義博・山崎末子ペア
- ・グラウンドゴルフ(個人)：山本利子
- ・ソフトボール(チーム)：角・竹安連合
- ・ソフトバレーボール(チーム)：caps

☆カーブミラーを磨きました

平成二十六年六月十五日交通防犯部のみなさんで、二班に分かれて竹安く二鹿道と葛淵く甘木道に設置されている全てのカーブミラーを噴霧器と手作業によってきれいに磨きあげました。安全確認の一助になることを願いつつ。



☆健康ハイク(山登り：大星山と

道の駅：サザンセットとうわ)

平成二十六年十一月三十日(日)参加人数六十一名を得て旧ドライブイン河内山の広場に集合。募集人数五十名を大きく越える盛況を見ることになりました。

レンタルバス二台と乗用車3台に分乗して八時十五分出発、曇天の伊陸をぬけて柳井市街から平生町へ。

登山の出発地となる般若寺で一旦トイレ休憩をとっていたところ、雲行きが怪しくなり、歩行一時間を要する地まで車で行き、ここからハイキングを開始することになりました。十一時過ぎに全員が目的地の風力発電装置のある大星山展望台に到達。

高さ約百メートル、羽根の直径は七十メートルの風力発電設備は近くで見るとそのスケール感に圧倒されます。

説明板によると、一機の能力は一五〇〇キロワット、数機による年間の総発電量は三八〇万キロワット、一般家庭一二〇〇世帯分の消費電力量に相当するそうです。

今にも降りそうな雨もあって早めの昼食を終えて、待機中のバスについた頃にはポツリポツリと雨になり、タイミングの良さに安堵のなか、大島にある道の駅「サザンセットとうわ」に向けて再出発。道の駅で一時間ほどの休憩を終えて、帰路に向かう。三時半過ぎの到着は余裕をもつての解散となりました。



【編集後記】

平成二十六年年度最後の発行となります。年々歳々同じような紙面になって申し訳ありません。

情報のご提供よろしくお願いたします。

編集委員 森重典夫 水野 惇